

大分工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	物理学特論
科目基礎情報					
科目番号	R03AG1005		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科一般科目		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 配布プリント				
担当教員	藤本 教寛				
目的・到達目標					
(1) 解析力学のラグランジュ形式を理解し、作用原理から運動方程式を導出して保存則を導くことができる。(定期試験・課題) (2) 解析力学のハミルトン形式を理解し、作用原理から運動方程式を導出して問題を解くことができる。(定期試験・課題) (3) 特殊相対性理論とゲージ理論の基礎を理解し、作用原理から質点の運動方程式とゲージ場の運動方程式を導ける。(定期試験・課題) (4) 素粒子標準模型の基礎を理解できる。(定期試験・課題)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	作用原理やオイラー・ラグランジュ方程式から導出した運動方程式を、具体的に解くことができる。	ラグランジュ形式を理解し、オイラー・ラグランジュ運動方程式を導出して保存則を導くことができる。	ラグランジュ形式を理解し、オイラー・ラグランジュ運動方程式を導出して保存則を導くことができない。		
評価項目2	修正ハミルトンの原理からハミルトンの運動方程式を導出し、具体的に問題を解くことができる。	ハミルトン形式を理解し、修正ハミルトンの原理から運動方程式を導出することができる。	ハミルトン形式を理解し、修正ハミルトンの原理から運動方程式を導出することができない。		
評価項目3	相対論的に不変なゲージ場の作用からマクスウェル方程式を導くことができる。	特殊相対論的に不変な作用から、質点の運動方程式を導くことができる。	特殊相対論的に不変な作用から、質点の運動方程式とマクスウェル方程式を導くことができない。		
評価項目4	素粒子標準模型の構成粒子を全て書き下すことができる。	素粒子の種類を書き下すことができる。	素粒子の種類を書き下すことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (B1) JABEE 1(2)(c) JABEE 1(2)(g)					
教育方法等					
概要	解析力学を通じてニュートン力学を最小作用の原理から定式化しなおし、実際の幾つかの問題に対して運動方程式を解くことで理解を深める。後半は、解析力学と関係の深い特殊相対性理論とゲージ理論について学び、素粒子標準模型についても触れる。物理学特論は2年生の宇宙地球科学につながる内容でもある。 (科目情報) 教育プログラム第3学年 ◎科目				
授業の進め方と授業内容・方法	配布教科書を中心として、板書による授業を行う。教科書だけではどうしても理解が深まらないので、レポート課題を課し、演習問題を通じて理解を深める、 (事前学習) 教科書を読み予習してくることを前提として講義を進める。シラバスを参考に、予習をしっかりと行うこと。				
注意点	(履修上の注意) かなり高度な内容を含むため、講義中でもわからないことが出てきたらすぐに質問して、参考書なども使い解決すること。メールでの質問も受け付けるため、必ずわからないところは分かるまで粘ること。 (自学上の注意) わからないところはメールを活用し、随時質問して解消をすること。				
評価					
(総合評価) 新型コロナウイルス感染症対策により、web授業を授業期間の1/4以上ほど行った場合、web授業の内容を書いた板書ノートの提出を求め、課題点として総合評価の1割とする。 ・総合評価【Web授業なし】= (定期試験の平均点) × 0.65 + (レポート課題の平均点) × 0.35 ・総合評価【Web授業あり】= (定期試験の平均点) × 0.50 + (レポート課題の平均点) × 0.40 + (板書ノート提出) × 0.10 (単位修得の条件について) レポート課題の70%以上が提出されていることを条件とし、これを満足している者に対して、総合評価が60点以上を合格とする。 (再試験について) レポート課題の70%以上が提出されていることを条件とし、これを満足している者に対して、再試験を行う。					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オイラー・ラグランジュ方程式	座標変換で共変なオイラー・ラグランジュ方程式を学ぶ。	
		2週	オイラー・ラグランジュ方程式	オイラー・ラグランジュ方程式が座標変換で共変的なことを確かめることができる。	
		3週	作用原理とオイラー・ラグランジュ方程式	作用原理から、オイラー・ラグランジュ方程式を導出することができる。	
		4週	作用と保存量	作用の不変性と保存量の関係を、ネーターの定理から学ぶ。	
		5週	演習問題	ラグランジュ形式を用いて、質点の運動を解くことができる。	
		6週	ハミルトニアン	ハミルトニアンの定義を示すことができる。	
		7週	ハミルトンの運動方程式の導出	ハミルトニアンの運動方程式を導出できる。	
		8週	ポアソン括弧とハミルトンの運動方程式	ポアソン括弧を用いて、ハミルトニアンの運動方程式を書き直すことができる。	

4thQ	9週	正準変換と母関数	ハミルトン形式における, 正準変換と母関数を理解することができる。
	10週	演習問題	ハミルトン形式を用いて, 質点の運動を解くことができる。
	11週	ローレンツ変換	ローレンツ変換について理解できる。
	12週	相対論的運動方程式	相対論的に不変な作用から質点の運動方程式を導くことができる。
	13週	ゲージ場の運動方程式	相対論的に不変なゲージ場の作用から, マクスウェル方程式を導くことができる。
	14週	素粒子標準模型	素粒子標準模型の概念を理解し, 構成粒子を書き下すことができる。
	15週	後期期末試験	
	16週	後期期末試験の解答と解説	分からなかった部分を把握し理解できる。

#### 評価割合

	定期試験	レポート課題	合計
総合評価割合	65	35	100
基礎的能力	25	10	35
専門的能力	40	25	65
分野横断的能力	0	0	0

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	コミュニケーション演習 (Communication Seminar)		
ナンバリングコード	A10304	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル コミュニケーション科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A029051	クラス名	-
担当教員名	山本 義史、安田 幸夫、高見 大介		
履修上の注意、履修条件	第1回に重要なオリエンテーションがありますから、第1回から出席した人のみ受講を認めます。また、第15回は、最終論文を授業中に書いてもらいますから、必ず出席してください。演習のため、授業は講義形式よりも話し合いやグループ学習形式で進めていきます。したがって、話し合いやグループ活動への参加態度が積極的ではない場合には受講停止になることがあります。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	心理学、人間力概論、文章表現基礎講座		

○基本情報	
授業の目的	本講義を通して、「こころの力」「社会人基礎力」「職業能力」「専門能力」の4つの力が結集した「人間力」を育成をベースに、社会貢献や地域の活性化・福祉に必要な実践的な知識・技術を習得します。特に、コミュニケーション能力の育成と人間を見るための視点の修得を目標とします。具体的には、コミュニケーション・スキル、協働、思いやり、自己探求、自己表現、問題解決などをグループでの話し合いや協同学習を通して考え、身につけます。 その結果、知らない人とでも話せるようになること、他者の話を傾聴できること、自己表現できること、他者とも協働しながら問題解決できるようになることを主としてめざします。また、こうした基礎的な力をもとに生きるための力を考えていきます。
授業の概要	各回グループワークなどによる実習や話し合い・協同学習を中心として進めていきます。そこでは、コミュニケーションの基礎として、知らない人とでも話すように努力すること(ほとんど毎回グループ替えをします)、他者の話がしっかり聴けること、大人数の前でも恥ずかしくせずに自己表現できること、他者と協力して作業ができること、さらにそれらが円滑に進むように授業者の指示に応じられることを最重要視します。ときどき、ホームワーク(宿題)を提出させることがあります。成績は、出席(全15回中11回以上)、ホームワークの提出、コミュニケーションへの参加態度および毎回授業中の小論文および最終論文を中心に評価を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	幅広く人間関係やコミュニケーションに関心をもって、積極的に行動している。		60点	
【知識・理解】	コミュニケーションの必要性や適切な人間関係の在り方を理解している。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通してコミュニケーション・スキルを身につけており、表現できる。		20点	
【思考・判断・創造】	どのような状況で、どのようなコミュニケーションが適切か思考・判断し、創造的に行動できる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
毎回の小論文は、意味のある文章であって、かつ350字以上400字を採点基準とします。最高点4点×15回=60点。フィードバックについては、必要に応じて授業中に全体的に行います。小論文と最終論文の論点・内容は、毎回の与えられた課題に応じて、授業中のコミュニケーションについて考察し、自分に引き寄せて問題解決をめざし、創造的に論じていけば、4点/1回(×15回=60点)となります。そして、関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現・コミュニケーション、思考・判断・創造の観点から総合的に評価します。小論文については、次回以降の授業中に講評・解説により、フィードバックを行います。最終論文(第15回)400字以上800字以内、意味のある文章であり、かつ題意に沿った記述であれば30点、発想やアイデアがユニークであったり、思慮深く優れていたりすれば10点加点の合計40点とします。	

○その他	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	コミュニケーション演習 (Communication Seminar) 山本 義史、安田 幸夫、高見 大介	授業コード	A029051
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 授業心得・諸注意・授業の進め方について説明します。事前アンケートと小論文の作成を行います。				
予習	「夏休みの思い出、春休みに挑戦したいこと」について考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>2. グループでの話し合い</b> 夏休みの思い出、春休みに挑戦したいことについて・分かち合い、小論文				
予習	「家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキルなど自慢できるものについて」考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>3. グループでの話し合い</b> 自分の家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキル、遊び・趣味など自慢できるものについて、分かち合い、小論文				
予習	「秋らしいもの」について考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>4. グループでの話し合い</b> 秋探し・裏山小散策、分かち合い、小論文				
予習	コミュニケーションについて調べてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>5. グループワーク</b> コミュニケーションとコンセンサス1、分かち合い、小論文 グループの意見を一致させ、合意に至るコンセンサス法を学び、これを活用して「これは何でしょう」クイズにグループで解答します。				
予習	自分の一番大切なものとその理由について考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>6. グループワーク</b> コミュニケーションとコンセンサス2、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、価値観について話し合ってみます。				
予習	コミュニケーションについて考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>7. グループワーク</b> 表情・ノンバーバルコミュニケーション、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、グループで合意した解決に至ります。				
予習	コミュニケーションについて考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>8. グループワーク</b> 音楽によるコミュニケーション、分かち合い、小論文 コンセンサス法を活用して、グループで合意した解決に至ります。				
予習	課題の映画について調べてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	コミュニケーション演習 (Communication Seminar) 山本 義史、安田 幸夫、高見 大介	授業コード	A029051
<b>学修内容</b>				
<b>9. グループ・エクササイズ</b> 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ1、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	課題の映画について調べてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>10. グループ・エクササイズ</b> 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ2、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	課題の映画について調べてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>11. グループ・エクササイズ</b> 映画を使ったコミュニケーション・エクササイズ3、分かち合い、小論文 映画を鑑賞した後、内容についてグループで話し合います。				
予習	「生きていくのに必要なもの」について考えてきます。			約2時間
復習	「本日のコミュニケーションで気づいたこと」について考えます。			約2時間
<b>12. グループ学習</b> テーマを設定した話し合い1「生きていくのに必要なもの」、発表、小論文 思考ツールであるマインドマップとKJ法を学ぶ。これらを活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	「なぜコミュニケーションが必要なのか」について考えてきます。			約2時間
復習	マインドマップやKJ法で、またコミュニケーションで難しかったこと、逆に良かったことなどをまとめます。			約2時間
<b>13. グループ学習</b> 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い1「なぜコミュニケーションが必要なのか」、発表、小論文 マインドマップとKJ法活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	「うまくコミュニケーションをするにはどうしたよいか」について考えてきます。			約2時間
復習	今日のコミュニケーションでうまくいったこと、逆に難しかったことをまとめます。			約2時間
<b>14. グループ学習</b> 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い3「うまくコミュニケーションをするにはどうしたよいか」→各グループでマニュアル作り」、発表、小論文 マインドマップとKJ法を活用してグループで問題解決に至ります。				
予習	最終論文に備えてワークシートを整理します。			約2時間
復習	今日、コミュニケーションにおいてうまく実行できたことをまとめます。			約2時間
<b>15. 最終論文</b> 前回作品鑑賞・検討 前回までの授業を振り返り、最終論文を作成します。				
予習	ありません。			約2時間
復習	ありません。			約2時間
<b>16. 期末試験</b> ありません。				
予習	ありません。			約2時間
復習	ありません。			約2時間

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	起業学 (Theory of Entrepreneuring)		
ナンバリングコード	A20206	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目 / キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A028352	クラス名	-
担当教員名	長崎 浩介、工藤 順一、橋本 堅次郎、泉 丙完		
履修上の注意、履修条件	あなた自身が起業するつもりで授業に臨むこと。		
教科書	レジュメやパワーポイントなどを使用します。		
参考文献及び指定図書	「その他」欄参照		
関連科目	経営学入門、マーケティング論、ブランド学、広告論		

○基本情報							
授業の目的	<p>今、起業が注目されています。日本経済を活性化するためには、自ら新しい商品(技術・サービス)を開発し、新しい市場の開拓に挑戦する「ベンチャービジネス」を始めとする独創的な新しい企業の出現が期待されます。</p> <p>この授業では、ベンチャーを起こす意味や社会背景について理解するとともに、ベンチャー起業家を育成するために、豊かな発想力や行動力をどのように養成したらよいか、さらには資金面やマネジメントの問題をどう解決すればよいかなどについて学びます。</p>						
授業の概要	<p>この授業の担当教員は全員民間企業での実務経験を有しており、それに基づいたリアルで実践的な授業を展開します。教員によって授業のテーマと進め方は異なりますが、「将来起業できる人材を育成する」という目標は同じです。皆さん自身が起業家になったつもりで授業に臨んでください。この授業を受けた学生の中から、将来多くの起業家が生まれることを期待しています。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「オムニバス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「プレゼンテーション」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	全員が民間企業及び地方自治体での実務経験(新製品開発、創業支援など)を有する。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	起業への関心を高め、起業についての意欲を持つ。	10点		
【知識・理解】	起業の歴史、実際のベンチャー企業への理解を深めるとともに、起業に関する会計などの周辺知識を習得する。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	レポートや試験の記述を通して、論理的な表現能力を高める。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	起業についての幅広い思考能力を高め、まず起業への興味を高めて、創造力や判断力も高める。	20点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<p>毎回の授業においてレポートを課します。レポートは、テーマに沿って自分の言葉で書いてください。レポートの提出状況は成績評価に反映します。</p> <p>期末試験では、授業の中で学んだ内容について幅広く出題します。期末試験の実施方法については、追って説明します。</p>

○その他
<p>【参考文献】</p> <p>柳孝一、長谷川博和『ベンチャー企業論』放送大学教育振興会、2005年</p> <p>Jeffrey A. Timmons『ベンチャー創造の理論と戦略—起業機会探索から資金調達までの実践的方法論』ダイヤモンド社、1997年</p> <p>小室直樹『小室直樹 経済ゼミナール 資本主義のための革新』日経BP社、2000年</p> <p>本田宗一郎『本田宗一郎 夢を力に—私の履歴書』日経ビジネス人文庫、2001年</p> <p>菊池 恭二『宮大工の育て』祥伝社新書、2008年</p>

## 2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	起業学 (Theory of Entrepreneuring)	授業コード	A028352
	担当教員	長崎 浩介、工藤 順一、橋本 堅次郎、泉 丙完		
<b>学修内容</b>				
<b>1. なぜ「起業学」を学ぶのか【工藤】</b>				
最近、ネットやテレビ広告でも「起業支援・創業支援」という言葉をよく聞くようになりました。国は盛んに「起業・創業を支援し日本経済を活性化！」とPRしています。その理由は、廃業等により日本の中小企業数がどんどん減っているからです。一方、これから事業を始めようという起業意識は相変わらず低く、開業率の低さがそのまま日本経済の低迷につながっています。今回は、そうした起業を取り巻く情勢を学び、起業家の輩出に対応できるような教育制度の改革が求められていることについても学習します。				
	予習	あなたの周りにある新聞や雑誌の中から企業に関係する記事をピックアップしてみましょう。		約2時間
	復習	起業するとはどういうことなのか、起業がなかったら、あなたの地元の町がどうなるのかを考えてみましょう。		約2時間
<b>2. 起業の心構え【工藤】</b>				
今回は起業者に求められる起業の心構えについて学びます。中小企業庁によるガイドブック「夢を実現する創業」の中で取り上げられている起業の心構え(資質)、アメリカの経営学者ピーター・ドラッカーがマネージャーに求めた心構え(資質)を学びます。次に、ドラッカーが尊敬したという日本の渋沢栄一や出光佐三の考えも学びます。渋沢は「士魂にして商才がなければならぬ。商才は道徳と離るべからざるものとすれば、道徳の書たる論語によって養える訳である」と述べています。起業家が起業するに当たり、どのような心構えでいたら良いか、近江商人の商売十訓も参考にしながら考えてみましょう。大分の元				
	予習	渋沢栄一がどのような人物であるかを、事前に調べておきましょう。		約2時間
	復習	士魂と商才とは、何を表しているのかをレジュメを見ながら、確認しておきましょう。		約2時間
<b>3. 創業に必要な準備(資金や設備)【工藤】</b>				
今回は、創業に必要な準備について学びます。創業するのに何を準備したらよいのか、それ自体が分からない方がほとんどです。そこで、日本政策投資銀行等による「創業の手引き」というガイドブック等を紹介します。ガイドブックの中にある、創業計画書の作り方や資金計画、創業に伴う届出、従業員の採用等の支援を通して創業準備を学習します。また、工学部の学生もいますので、法隆寺金堂・法輪寺三重塔・薬師寺金堂等の復興をされた宮大工の西岡常一氏の名言等を紹介し				
	予習	創業するに当たり、どのような準備をすべきかを、ヒト、モノ、カネ、情報の面から考えてみましょう。		約2時間
	復習	あなたが創業するとしたら、足りないものは何かをピックアップしてみましょう。		約2時間
<b>4. 起業の事例研究 宮大工の人育【工藤】</b>				
「宮大工の人育て」(菊池恭二著、出版社:祥伝社)を使いながら、法隆寺の鬼と言われた故西岡常一棟梁のもとで薬師寺の金堂、西塔の再建建立に携わるなどして社寺建築を学び、宮大工の道を歩くようになった著者が語る宮大工の人育ての本を学習します。「人をどうやって育て、使うかといったら、やはり木と同じように癖を読み、得手だけでなく、不得手な部分も上手に生かしてやる、ということだろうと思います。」これらを学びながら、どうすれば人は育つのか一緒に考えましょう。				
	予習	自然に生えている木が持っている癖について調べてきてください。		約2時間
	復習	自然に生えている木が、薬師寺や法隆寺のどこに使われているか調べましょう。		約2時間
<b>5. 創業と守成 (企業の事例研究)【橋本】</b>				
事業を育て上げた後に待っているのはその事業を次の世代に引き継ぐことです。事業の承継がうまく行かない事例がマスコミを騒がすように、事業承継は大変に難しいものです。実際の承継事例を検討しながら承継について学生と一緒に考えます。				
	予習	「創業は易く、守成は難し」という言葉の意味について、事前に調べてきましょう。		約2時間
	復習	授業の中で企業の事例をとりあげますので、自分にできる創業を考えてみましょう。		約2時間
<b>6. 創業と守成、承継【橋本】</b>				
事業を育て上げた後に待っているのはその事業を次の世代に引き継ぐことです。事業の承継がうまく行かない事例がマスコミを騒がすように、事業承継は大変に難しいものです。実際の承継事例を検討しながら承継について学生と一緒に考えます。				
	予習	事業承継とはどのようなことなのかをインターネット等で調べてきましょう。		約2時間
	復習	起業と事業承継の関係について、地域活性化の観点から考えてみましょう。		約2時間
<b>7. さまざまな起業家達【橋本】</b>				
起業というITを中心にした起業を思い浮かべますが実は社会起業家など起業の種類は大変に幅広いものです。また起業する年齢も実はシニア起業家と言われるように中高年の起業の比率は高いものになっています。起業という言葉ではかたづけられない世界を事例をあげながら一緒に考えていきます。				
	予習	ホンダやシャープの創業者について、なぜ起業したのかという観点で調べてきましょう。		約2時間
	復習	戦後多くの起業家が日本から生まれましたが、多くの起業家が出てきた理由について考えてみましょう。		約2時間
<b>8. eビジネス起業演習(1)【泉】</b>				
近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学びます。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案します。				
	予習	eビジネスとはどういうものなのかを、インターネットの中から見つけてきてください。		約2時間
	復習	eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。		約2時間

○授業計画	科目名	起業学 (Theory of Entrepreneuring)	授業コード	A028352
	担当教員	長崎 浩介、工藤 順一、橋本 堅次郎、泉 丙完		
<b>学修内容</b>				
<b>9. eビジネス起業演習(2)【泉】</b>				
近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学びます。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案します。				
	予習	eビジネスとはどういうものかを、インターネットの中から見つけてきてください。		約2時間
	復習	eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。		約2時間
<b>10. eビジネス起業演習(3)【泉】</b>				
近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学びます。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案します。				
	予習	eビジネスとはどういうものかを、インターネットの中から見つけてきてください。		約2時間
	復習	eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。		約2時間
<b>11. eビジネス起業演習(4)【泉】</b>				
近年、起業に成功したeビジネスの事例を通して、これらのeビジネスの成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学びます。本演習では、企業に成功したeビジネスを基に、次の時代の新たなeビジネスを提案します。				
	予習	eビジネスとはどういうものかを、インターネットの中から見つけてきてください。		約2時間
	復習	eビジネスが成功している理由はどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。		約2時間
<b>12. 起業と資金調達(1)資金調達の方法とクラウドファンディング【長崎】</b>				
起業をするにはまず事業資金(元手)が必要です。資金調達の方法はいくつかありますが、近年新しい方法としてクラウドファンディングが注目されています。この回では、企業の資金調達の方法の全体像を示した上で、そのひとつであるクラウドファンディングについて学びます。				
	予習	企業の資金調達手法にどのようなものがあるか、調べてみましょう。		約2時間
	復習	クラウドファンディングの成功事例について調べてみましょう。		約2時間
<b>13. 起業と資金調達(2)金融機関からの資金調達【長崎】</b>				
資金を調達する方法は、自分で用意する方法(自己資金)と金融機関から借り入れる方法の2つに大きく分けられます。創業時の企業は信用力が乏しいので、ある程度の自己資金を用意した上で政府系金融機関や民間金融機関から融資を受けるのが一般的です。この回では、金融機関からの資金借入れについて、その仕組みと方法について学びます。				
	予習	政府系金融機関や民間金融機関にどのようなものがあるか調べてみましょう。		約2時間
	復習	政府系金融機関や民間金融機関の融資メニューにどのようなものがあるか調べてみましょう。		約2時間
<b>14. 起業と資金調達(3)資金計画【長崎】</b>				
事業を開始・継続するのに必要な資金は、運転資金と設備資金に大きく分けられます。この回では、それぞれの資金について説明した上で、起業の際にどのように資金計画を立てたらよいのかについて説明します。				
	予習	運転資金と設備資金とはどのようなものか調べてみましょう。		約2時間
	復習	関心のある業種について、仮に自分が起業するとしたらどのような資金がいくら必要かリストアップしてみま		約2時間
<b>15. 起業と資金調達(4)金融機関の融資審査【長崎】</b>				
金融機関の融資は、申し込んだら必ず受けられるわけではありません。財務諸表や事業計画書などを提出して、審査にパスする必要があります。この回では、金融機関はどのような点に着目して融資審査を行っているかについて説明します。				
	予習	金融機関の融資メニュー(事業資金のほか自動車ローンや住宅ローンなど)について調べてみましょう。		約2時間
	復習	金融機関から融資を受けるためにはどのようなことに気を配るべきか、自分で考えてみましょう。		約2時間
<b>16. 期末試験</b>				
期末試験を実施します。				
	予習			
	復習			

科目コード	2A2C01
科目名	九州学
担当教員名	飯沼賢司
科目区分	コア科目コア1
対象学科	[21]文学部
対象学年	1年次
開講期間	後期
単位数	2

+++授業概要	<p>九州学のねらいは、次のようなことである。現在、県域を越えて、九州というまとまりで世界、他地域にアピールすることが求められている。その内容は歴史や文化だけではダメである。それは「食べる・見る・聞く・嗅ぐ・触る」という五感を投入した総合学でなければならないと考える。この授業は学際科目として、本学の3学部、短大の教員、および九州学に共鳴する研究者によって、リレー授業方式で実施する。受講者には九州という地域から新しい見方を勉強してもらい、それぞれの視点から地域の未来を語る学生が育つことを目標とする。</p> <p>別府大学で2015年1月に提唱した「九州学」は2015年9月から授業として実施され、今年度第7回目の講義となる。第1回目は「観光アイランド九州」、2回目九州学は「がんばろう九州」、第3回目は「九州再発見、学のカロスロード九州」、第4回目は「辺境からの発信」、5回目は「九州を発光させる」6回目「大学創立70周年記念 原点から未来を考える」等をテーマに九州の魅力発見の旅に出ました。今年度は、大学70周年、コロナ禍を経て、「新たな発見、新たな旅立ち」というテーマを設定したいと考える。</p>
---------	--

No	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
到達目標1.	九州という場所の魅力を再発見し、九州をすばらしさを認識する	◎					
到達目標2.	九州の魅力を再認識し、ここで得た知識を伝えることができる。	○					
到達目標3.							
到達目標4.							
到達目標5.							

No	授業内容	授業時間外の学修の内容と時間
1.	今年の授業のねらい。アフターコロナの挑戦	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
2.	感染症と日本人 長野浩典	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく(1h)。授業後は必ず復習をする(1h)。
3.	世界農業遺産への挑戦 大坪史人	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
4.	鉄輪湯治ぐらしの新しき挑戦	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
5.	想像力が未来をつくる	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
6.	食の力が未来を拓く	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
7.	民俗学からみた九州の魅力	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)
8.	災害王国九州のボランティアの実践 尾畑春夫 庭で行うボランティアの実践	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)

	9.	賀川光夫と別府大学—その絵日記が語る未来へのメッセージ 賀川 洋	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)																																														
	10.	咸宜園教育から未来を考える 後藤宗俊	シラバスを読み、事前に関係の事項(1h)を本やインターネットで調べておく。授業後は必ず復習をする。(1h)																																														
	11.	芸術の力が未来を拓く	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)																																														
	12.	外国人がみた九州観光の魅力 鈴木 晶	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)																																														
	13.	シンポジウム「別府大学 新たなる発見、新たなる旅立ち」 土曜日午後授業	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。(1h) 授業後は必ず復習をする。(1h)																																														
	14.	シンポジウム「別府大学 新たなる発見、新たなる旅立ち」 土曜日午後授業	シラバスを読み、事前に関係の事項を本やインターネットで調べておく。授業後は必ず復習をする。																																														
	15.	九州学のまとめ	これまでの総復習とレポートへの準備(2h)																																														
履修条件や関連する科目等	温泉学概論。																																																
教科書 (テキスト)	随時印刷資料を渡す。																																																
参考書 (授業資料)																																																	
評価方法とその割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>到達目標毎の評価方法</th> <th>期末試験</th> <th>小テスト</th> <th>課題・レポート</th> <th>発表</th> <th>授業の取組み姿勢</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>到達目標1</td> <td></td> <td></td> <td>40%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標2</td> <td></td> <td></td> <td>40%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他	到達目標1			40%		10%		到達目標2			40%		10%		到達目標3							到達目標4							到達目標5						
到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他																																											
到達目標1			40%		10%																																												
到達目標2			40%		10%																																												
到達目標3																																																	
到達目標4																																																	
到達目標5																																																	
評価方法(自由記述欄)	学習状況を前提に、授業内容に関する課題を出し、これをレポートで提出させ、この内容で評価を行う。																																																
評価基準等	学習の到達度に応じて、AA(90~100点)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、F(59点以下)で評価します。																																																
学習相談及び学習成果のフィードバック	授業ごとにミニツッパーパーを配布する。授業の質問や学習のフィードバックはこれを通じて行いたい。オフィスアワーは月曜4限目と水曜1限目。																																																
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	特になし。																																																
学生へのメッセージ その他	<p>○外部からの講師が多い授業ですので、私語やスマホ操作など失礼がないように注意してください。</p> <p>○今年度は、大学71周年の年目です。強く「我々」の原点を意識し、新たに出発を考える年です。皆さんも大学を構成する重要なメンバーです。是非、この機会に大学の未来を考え、主体的行動してみてください。</p> <p>○賀川光夫先生が亡くなってから20年目です。この講義に合わせて、先生の原画展を佐藤義詮記念館のギャラリーホールで実施します。</p>																																																
ナンバリング	RES-0-03-700																																																



科目コード	2A2201
科目名	温泉学概論
担当教員名	鈴木 晶
科目区分	コア科目コア1
対象学科	[21]文学部
対象学年	1年次
開講期間	後期
単位数	2

+++授業概要	<p>温泉文化は日本の自然と歴史に根ざした日本独自のものであるが、本格的な研究は十分ではない。そこで、別府大学では、世界最大の温泉保養地別府市にある大学として、総合温泉学の確立を目指すプロジェクトを開始している。本講義は温泉に係わる研究を広く公開する場とする。学内外の多分野にわたる教員がさまざまな方面から温泉のもつ諸側面を明らかにしていく。13回の授業の内容は温泉に関する文化、歴史、観光などを通して温泉に対する基本知識を学習して、「温泉大国」である日本を再認識できるようになる。また2回分は、学生に学外温泉実地調査(別府八湯各地)を実施させる。講義は複数の教員がリレー方式で行う。ただし、順番と内容は教員の都合によって変更することがある。詳細は最初の講義で説明する。</p>
---------	---

到達目標	No	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
	到達目標1.	日本の温泉文化を理解し、それを見直すことができる	◎					
	到達目標2.	温泉の種類、温泉の効用、温泉の地熱利用の知識を取得できる			○			
	到達目標3.	温泉観光などの知識を取得できる				○		
	到達目標4.	外国の温泉地の状況を学習できる						○
	到達目標5.							

授業計画	No	授業内容	授業時間外の学修の内容と時間
	1.	温泉学、別府温泉大学	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	2.	別府八湯、歴史	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	3.	別府温泉道	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	4.	温泉と自然	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	5.	温泉と文学	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	6.	温泉と日本文化	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	7.	外国の温泉事情	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	8.	温泉と観光	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	9.	温泉と健康	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	10.	温泉と芸術	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	11.	温泉水の商品開発	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	12.	温泉エネルギー活用	教員が配ったプリント内容を復習する(1時間) 次回の内容を予習する(1時間)
	13.	別府八湯の実地調査(鉄輪、亀川、別府)	学外調査実習

	14.	別府八湯の実地調査（鉄輪、亀川、別府）	学外調査実習																																										
	15.	まとめ	教員が配ったプリント内容を復習する(5時間)																																										
履修条件や関連する科目等	特になし																																												
教科書 (テキスト)	①『別府八湯 温泉本』NPO 法人ハットウ・オンパク 2019～2010年版 500円 ②プリントを授業において配布。																																												
参考書 (授業資料)	随時指示される。																																												
評価方法とその割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>到達目標毎の評価方法</th> <th>期末試験</th> <th>小テスト</th> <th>課題・レポート</th> <th>発表</th> <th>授業の取組み姿勢</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>到達目標1</td> <td>30%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標2</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標3</td> <td></td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>到達目標5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他	到達目標1	30%		10%				到達目標2			20%		10%		到達目標3			10%		10%		到達目標4					10%		到達目標5						
到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他																																							
到達目標1	30%		10%																																										
到達目標2			20%		10%																																								
到達目標3			10%		10%																																								
到達目標4					10%																																								
到達目標5																																													
評価方法（自由記述欄）	<p>①13回目と14回目は学外温泉実地調査(別府八湯)を2回実施します。11回目と12回目の授業の時に事前に調査計画書の提出を求めます。2回調査後のレポートの提出を求めます。</p> <p>②レポートは学習成果の取得を測る目的で15回の授業後感想文を求めます。</p> <p>③レポートをもって評価とします。</p> <p>講義の内容を正確に理解できているか、また説明できるかについて評価します。</p>																																												
評価基準等	学習の到達度に応じて、AA(90-100点)、A(80-89点)、B(70-79点)、C(60-69点)、F(59点以下)で評価します。																																												
学習相談及び学習成果のフィードバック	<p>(1)学習相談 オフィスアワー: 火曜日3限、木曜日2限 研究室: 国際経営学部棟(39号館)5階</p> <p>(2)学習成果のフィードバック 小試験やレポートは授業の中で後日返却します。</p>																																												
法令等に定められた授業科目に含める必要事項	特になし。																																												
学生へのメッセージ その他	授業で発表する本を選んで読み、レポートを作成すること。 できるだけ早く大学生として必要とされる学習スキルを身につけるとともに学問的関心を広げ深めること。 この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。																																												
ナンバリング	RES-0-01-700																																												

					処理状態 完了
開設部局	食物栄養学科	科目名	大分学	担当教員名	樽本 謙司
シラバスID	SH216316	共同担当教員名	安達美和子	単位数	2
科目ID	CM1810010001	受講対象	食栄1	授業形態	講義
開講期	半期	適正	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 主体性・意欲 <input type="checkbox"/> 就業力・協働		
アクティブラーニングの要素を含んでいるか			◎はい ○いいえ		
<input type="checkbox"/> PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション、討論、ディベート		<input type="checkbox"/> グループワーク	
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション、発表	<input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク		<input type="checkbox"/> 実験、実技		
反転授業…知識修得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態					
科目の到達目標					
①大分県内の特色(歴史・人物・文化・産業等)について学ぶ。 ②大分県の魅力を全国に発信することができる。					
授業の目的・概要					
「温泉コンシェルジュ修了証取得のための必修科目」 の講義は、大分県研究会の会員を招へいし、大分県を多面的に捉え、地域愛、大分愛を育てます。 大分県は、個性豊かな温泉地が点在し、海あり山ありの自然に恵まれ、また豊かな食材の宝庫であり、多彩な地域文化が今もたくさん存在しています。それらの魅力を分類し、分野ごとに学びます。本講義では、温泉コンシェルジュとして必要な大分県全般について学び、顧客に対して適切に大分県の魅力を説明・案内できる基礎力を身に付けます。					
授業計画					
1. 「大分学」について、授業内容の説明 2. 歴史…大分を作った人たち①学問と教育に生涯を捧げた先哲 3. 歴史…大分を作った人たち②海防・医学・本草学の発展に多大な貢献 4. 歴史…大分を作った人たち③シーボルトと蘭語で話した中津藩主 5. 文化・芸術…大分を彩る文化芸術①伝統と革新の日本画 6. 文化・芸術…大分を彩る文化芸術②別府に生まれた人間国宝 7. 文化・芸術…大分を彩る文化芸術②巨岩壁に刻まれた仏たち、大分の石橋 8. 食…食は大分に在り、美味求真の世界①日本最古のかぼちゃ、宗麟南瓜 9. 産業…大分を支える産業①大分のユニークな企業群 10. 自然…大分を豊かにする自然の恵み①大分は九州の自然博物館(フィールドワーク) 11. 自然…大分を豊かにする自然の恵み②豊後大野市・姫島村のジオパーク(フィールドワーク) 12. 自然…大分を豊かにする自然の恵み③国東半島宇佐地域の世界農業遺産(フィールドワーク) 13. 温泉…日本一のおんせん県おおいた①“人脈観光地”湯布院温泉 14. 温泉…日本一のおんせん県おおいた②炭酸の恵み 長湯温泉 15. まとめ 筆記試験は実施しない					
認定試験	実施しない				
準備学習(予習・復習)	授業での配布資料やその他関連資料を活用し、予習・復習を行うこと。(30分程度)また、学習した地域等を各自で可能な限り訪問してみること。				
評価方法	レポート50%、小テスト30%、授業中の積極性20%による総合評価				
基準	S:到達目標を十分に理解できる A:到達目標を理解できる B:到達目標を概ね理解できる C:到達目標を理解できるように努めている				
テキスト	「まるごとわかる大分県」辻野 功ほか著 明石書店	オフィスアワー	授業の前に教室で受け付ける。		
参考資料教材等		備考	今後の活動や仕事等で活用できるように、講義ではメモをとり、ノート整理を行うこと。 大分学検定の受験を推奨する。		

処理状態 完了					
開設部局	ライフデザイン総合学科	科目名	温泉文化と活用	担当教員名	安達 美和子
シラバスID	LS216320	共同担当教員名	山出淳也、田島怜子、平野 芳弘、土谷雄一、末田加代子、本田麻也、安波治子	単位数	2
科目ID	LS1664010005	受講対象	ラ留2	授業形態	講義
開講期	半期	適正	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 主体性・意欲 <input type="checkbox"/> 就業力・協働		
アクティブラーニングの要素を含んでいるか			◎はい ○いいえ		
<input checked="" type="checkbox"/> PBL(課題解決型学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 反転授業	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、討論、ディベート		<input checked="" type="checkbox"/> グループワーク	
<input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション、発表	<input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/> 実験、実技			
反転授業…知識修得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態					
科目の到達目標					
①温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。 ②他者を理解し、多様な価値観を受容することができる。 ③職場や地域での人的ネットワークを構築し、活用することができる。					
授業の目的・概要					
「温泉コンシェルジュ修了証取得の為の必修科目」 2年次で行う専門的な3科目の学びを総合的にを行います。「温泉文化と活用」「温泉コンシェルジュ演習」「温泉コンシェルジュ応用」の3つの科目は、連動した授業の構成となっています。 本授業では、まちづくり、人づくり、場づくりにと奮闘する多くの講師を招へいし、専門的・実践的な講義を受けることで、顧客に役立つ泉質の見分け方、活用法、入浴法、まちの魅力等を学びます。また、情報発信の意義や手法を学び、別府観光の「新しい価値の創造」や「新しい時代の観光客のスタイル」を見いだせる温泉コンシェルジュとして資質・能力を養成します。					
授業計画					
1. 温泉文化と活用の内容説明 2. まちづくり、人づくり、場づくりに取り組むその手法と情報発信(活用) …生活に密着した温泉文化と多彩な温泉の魅力 (土谷 雄一) 3. まちづくり、人づくり、場づくりに取り組むその手法と情報発信(活用) …地域の魅力を発信する地域コンシェルジュ (末田 加代子) …明礬温泉の温泉文化の取組や商品開発 (本田 麻也) …鉄輪温泉の温泉文化の取組と商品開発 (安波 治子) 4. フィールドワーク 明礬エリア⇒湯の花小屋、お土産、伝統継承 5. フィールドワーク 明礬エリア⇒温泉文化のリサーチ 6. フィールドワーク 鉄輪エリア⇒貸間旅館や温泉熱を使った食、湯治湯 7. フィールドワーク 鉄輪エリア⇒鉄輪軒先マルシェ、食材を地元で購入し地獄蒸し体験 8. まちづくり、人づくり、場づくりに取り組むその手法と情報発信(活用) …明治期から昭和にかけて大発展した別府(別府温泉の今昔) (小野 弘) 9. まちづくり、人づくり、場づくりに取り組むその手法と情報発信(活用) …平野資料館現地研修 湯のまちを歩く (平野 芳弘) 10. 温泉を利用した産業…温泉の可能性、持続可能なエネルギー開発 (阿部 博光) 11. 別府の温泉(文化)情報発信の手法 …情報の収集・発信の仕方 (田島 怜子) 12. 別府の温泉(文化)情報発信の手法 …情報発信ワークショップ⇒ターゲットの設定、タイトル、企画内容 (田島 怜子) 13. 新たな温泉文化・プロデュースの学び・サービスの実現 …様々なアートプロデュース事例から地域の特徴・可能性・アイデア・キーワードを知る(山出 淳也) 14. 新たな温泉文化・プロデュースの学び・サービスの実現 …コト、モノ、ヒトの連携と情報発信の必要性、地域資源の活用と文化遺産 (山出 淳也) 15. 温泉文化と活用の振り返り …各グループで「まちの魅力情報発信」プレゼンテーション 筆記試験なし					
認定試験	実施しない				
準備学習(予習・復習)	15時間以外に、自主的に地域の特色を事前学習し、実際にいろいろな温泉に浸かったり、まち歩き等に参加する				
評価方法	①授業時の課題対応:ミニレポートや学習課題への対応:30% ②専門性:関係者での模擬接遇:30% ③責任感や積極性等の授業中の態度:20% ④プレゼン:20% 総合評価				
基準	S:到達目標を十分理解している A:到達目標を理解できる B:到達目標を概ね理解できる C:到達目標を理解できるように努めている				
テキスト	プリント使用	オフィスアワー	授業時間の前後に教室にて受付ます		
参考資料教材等	別府市ガイドブック	備考			

					処理状態 完了
開設部局	食物栄養学科	科目名	温泉医療療養指導	担当教員名	前田 豊樹
シラバスID	SH216265	共同担当教員名		単位数	1
科目ID	SH2083010004	受講対象	温泉1	授業形態	講義
開講期	半期	適正	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 主体性・意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 就業力・協働		
アクティブラーニングの要素を含んでいるか			○はい ◎いいえ		
<input type="checkbox"/> PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション、討論、ディベート		<input type="checkbox"/> グループワーク	
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション、発表	<input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク		<input type="checkbox"/> 実験、実技		
反転授業…知識修得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態					
科目の到達目標					
①健康増進にむけた温泉の利用法を説明できる。 ②安全に温泉を利用するための重要な点をきちんと挙げることができる。					
授業の目的・概要					
「温泉コンシェルジュ修了証取得のための必修科目」 温泉地に国内外から集まる観光客に、心身の健康を保つ温泉利用を案内できる「温泉コンシェルジュ」になるために、温泉の人体に対する生物学的効果の概要を理解してもらう。					
授業計画					
1) 温泉医学とはどのようなものか 2) 温泉の医学的効果を総論的に紹介 3) 温泉の泉質と医学的効果 4) 海外の温泉の医学的利用の紹介 5) 温泉の安全・衛生管理 6) 特殊浴を含む様々な温泉利用法について 7) 各論1 温泉と循環器疾患 8) 温泉と循環器疾患					
認定試験					
認定試験	実施しない				
準備学習(予習・復習)	講義二回目以降は、講義ごとに渡すプリントを読んでおくこと。				
評価方法	受講態度 10% 授業貢献度 10% 筆記試験 80%による総合評価				
基準	S:到達目標を十分に理解できる A:到達目標を理解できる B:到達目標を概ね理解できる C:到達目標を理解できるように努めている				
テキスト	プリント使用	オフィスパワー		授業時間の前後に教室で受け付ける。	
参考資料教材等	新温泉医学 日本温泉気候物理医学会編 あんしん・あんぜん温泉利用のいろは (環境省)		備考		

					処理状態 完了
開設部局	食物栄養学科	科目名	基礎医学	担当教員名	前田 豊樹
シラバスID	SH216280	共同担当教員名		単位数	1
科目ID	SH0580010101	受講対象	食栄1	授業形態	講義
開講期	半期	適正	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 主体性・意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 就業力・協働		
アクティブラーニングの要素を含んでいるか			○はい ●いいえ		
<input type="checkbox"/> PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション、討論、ディベート		<input type="checkbox"/> グループワーク	
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション、発表	<input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク	<input type="checkbox"/> 実験、実技			
反転授業…知識修得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態					
科目の到達目標					
①医療秘書実務士」「栄養士」取得に必要な医学的知識が理解できる。 ②おもに糖尿病、高血圧症等内科的疾患についての理解を深めることができる。					
授業の目的・概要					
テキスト並びにスライドをもとに講義を行う。 「栄養士免許」「医療秘書実務士」「介護職員初任者研修」「健康アドバイザー」「介護保険実務士」資格取得のための必修科目					
授業計画					
1) 温泉と循環器疾患 2) 温泉と呼吸器疾患 3) 温泉と免疫・アレルギー疾患 4) 温泉と代謝性疾患 5) 温泉と肝臓・消化器疾患 6) 温泉と婦人科・泌尿器科疾患 7) 温泉と骨・関節疾患 8) 温泉と皮膚疾患					
認定試験					
認定試験	実施しない				
準備学習(予習・復習)	毎回の講義を復習する。				
評価方法	受講態度 10% 授業貢献度 10% 認定試験 80%による総合評価				
基準	S:到達目標を十分に理解できる A:到達目標を理解できる B:到達目標を概ね理解できる C:到達目標を理解できるように努めている				
テキスト	プリント使用	オフィスアワー		授業前後に教室で受け付ける。	
参考資料教材等	温泉医学 日本温泉気候物理医学会編 あんしん・あんぜん温泉利用のいろは (環境省)	備考			